



2026年2月18日

各 位

会 社 名 ブリッジインターナショナルグループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼 CEO 吉田 融正  
(コード番号：7039 東証グロース)

問 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 長 渡 部 毅  
(TEL.03-5787-3030)

（訂正）「2025年12月期決算説明資料」及び「2025年12月期決算において  
想定されるご質問への回答について」の一部訂正に関するお知らせ

2026年2月13日に公表いたしました「2025年12月期決算説明資料」及び「2025年12月期決算において想定されるご質問への回答について」の一部の記載に誤りがございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2025年12月期決算説明資料」及び「2025年12月期決算において想定されるご質問への回答について」において、営業利益の前期比増減分析及び、研修事業の業績要因分析の説明理由の一部に修正すべき事項が判明したため、これを訂正するものであります。

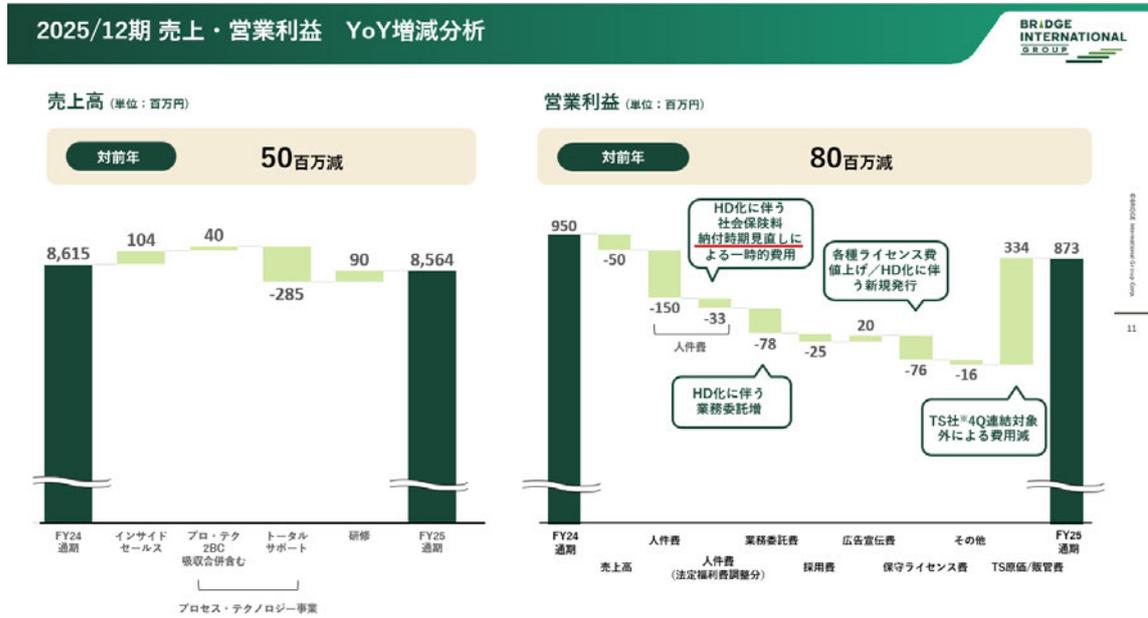
2. 訂正の内容等

別紙をご参照ください。

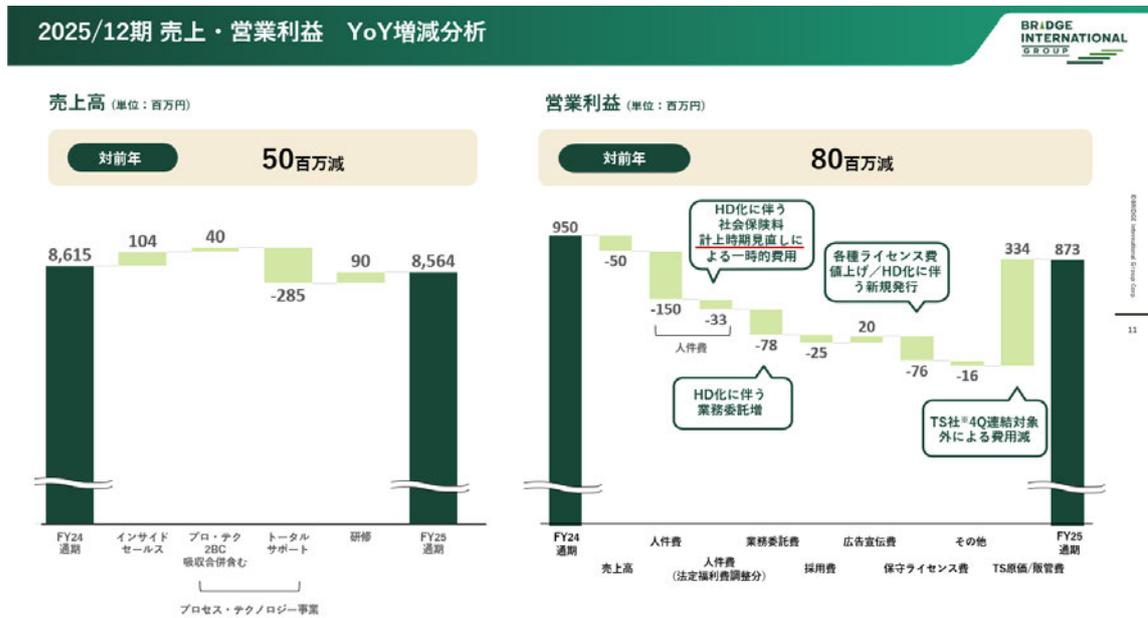
以上

(別紙)

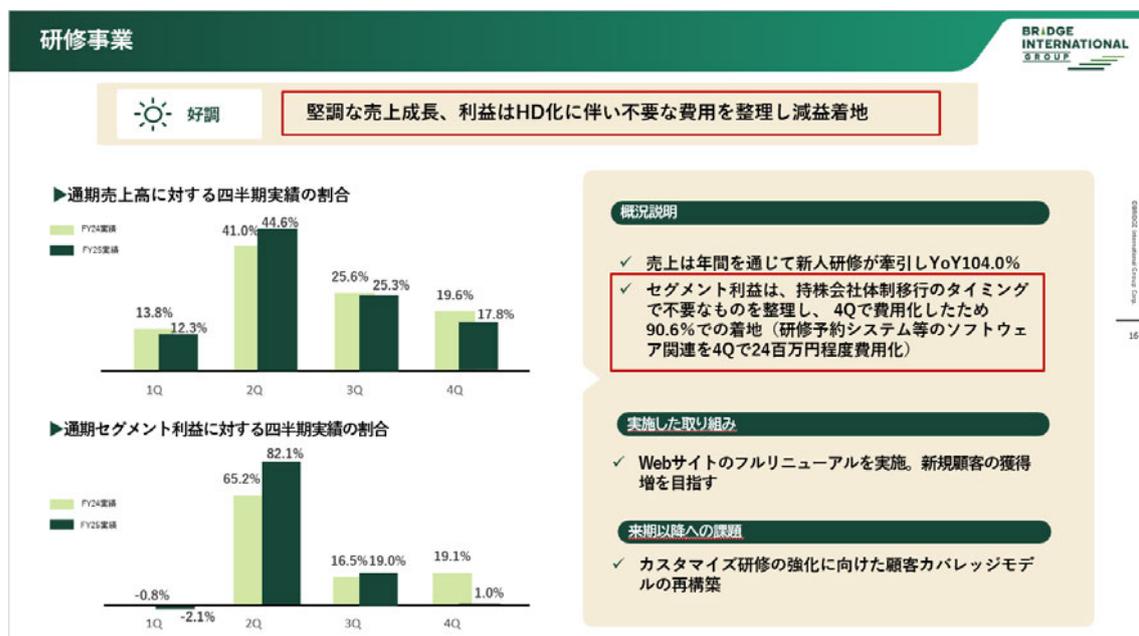
【訂正前】



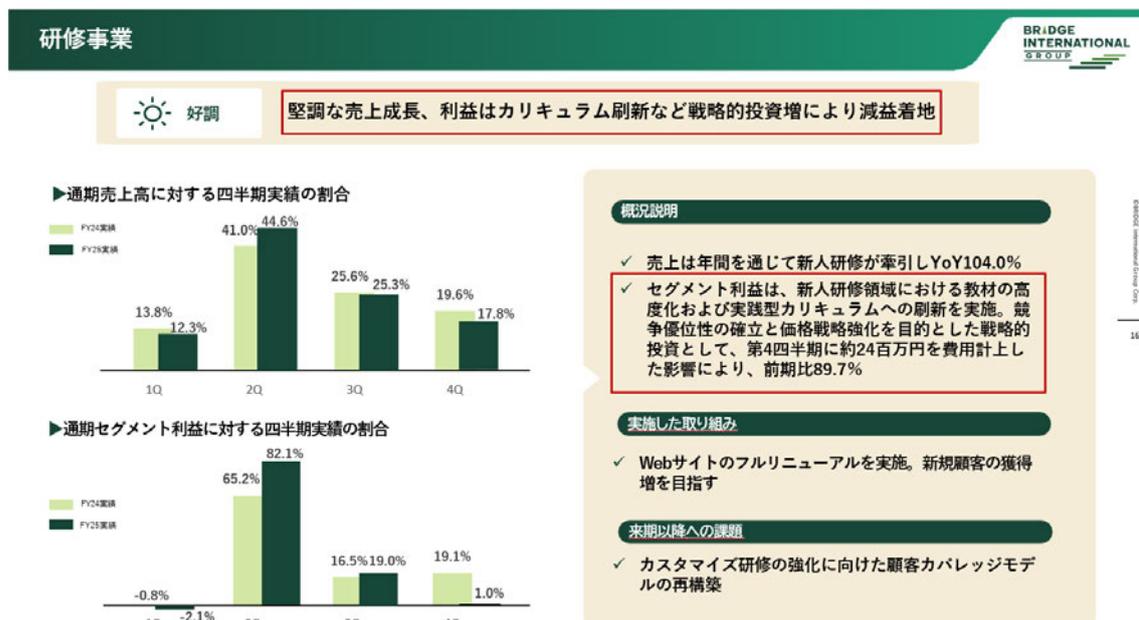
【訂正後】



【訂正前】



【訂正後】



2025年12月期決算において想定されるご質問への回答について Q1、Q5、Q6

**Q1：連結売上は前期比 99.4%、営業利益は同 91.9%だが、今期の総括は？**

【訂正前】

利益面では、2025年10月1日付で当グループが持株会社体制へ移行したことに伴い、体制整備に関連する各種業務委託費の増加に加え、社会保険料の納付時期見直し、システム・ライセンス費の増加が発生しました。

【訂正後】

利益面では、2025年10月1日付で当グループが持株会社体制へ移行したことに伴い、体制整備に関連する各種業務委託費の増加に加え、社会保険料の計上時期見直し、システム・ライセンス費の増加が発生しました。

**Q5：研修事業の利益は通期予想を大幅に下回った印象だがその要因は？**

【訂正前】

セグメント利益は、持株会社体制への移行に伴い、研修予約システムにおいて使わなくなった機能を整理し、第4四半期に費用化した影響（約24百万円）で、前期比 89.7%となりました。

【訂正後】

セグメント利益は、新人研修領域における教材の高度化および実践型カリキュラムへの刷新を実施し、競争優位性の確立と価格戦略強化を目的とした戦略的投資として、第4四半期に約24百万円を費用計上した影響により、前期比 89.7%となりました。

**Q6：持株会社体制への移行に伴う費用 100 百万円の内訳を教えてください**

【訂正前】

持株会社体制移行にかかった費用は、主に、業務委託費 45 百万円、社会保険料の納付時期見直しによる費用 33 百万円、各種ライセンスや保守料 12 百万円、その他 5 百万円であります。

【訂正後】

持株会社体制移行にかかった費用は、主に、業務委託費 45 百万円、社会保険料の計上時期見直しによる費用 33 百万円、各種ライセンスや保守料 12 百万円、その他 5 百万円であります。